

# 今夜、満月の庭で



坂元純  
藤田ひかこ・絵

わたしは、子どもの頃に大好きな絵本がありました。それは淡い色づかいの、美しい水彩で満たされた絵本でした。しかし外国の絵本でしたので、わたしには文章の意味はわからず、幼いわたしは絵を見ながら、勝手に物語を想像していたのでした。

当時わたしが想像した物語とは、こんな話です。

☆

あるところに、元気な女の子、マリタがいました。マリタは、いつも満月の夜を心待ちにしていました。満月の夜だけ、マリタは特別な夢を見るのです。

夢の中で、マリタは両親と出会います。実はマリタは両親とは死に別れ、お金持ちですが冷たい継母のもとで暮らしているのです。

両親は天国で飼っているかわいらしいユニコーンとともにマリタのもとにやってきて、マリタはユニコーンと遊びます。そんなマリタを見て、両親はやさしい言葉もかけてくれるのですが、やがて夜明けになるとふたりとも天国へ帰らなくてはなりません。

「だめ、いかないで！」

夢の中でそう叫びながら、マリタは両親を見送ります。

お誕生日の日。マリタはお友だちと楽しく遊ぶのですが、お友だちが帰ってしまうと、やはり両親のことを思い出し、